観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

平成24年10月15日(20,000部)発行
2012.10 Vol.46

学校法人 日本ホテル学院
発行所／専門学校 日本ホテルスクール
財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号　TEL.03-3360-8231(代)
http://www.jhs.ac.jp　http://www.jec-jp.org/　FAX.03-3360-8584

アジアの英語公用語大国フィリピン
パーペチュアル大学と単位互換
アジアでは初の試み、3年次へ編入、2年間で学士号取得

連携 合意調印式：アンソニー・タマヨ理事長(左)と石塚勉校長(右)

去る7月5日から4日間、フィリピンのマニラ市に隣接するラス・ピナス市にあるパーペチュアル大学（略称＝UPH大学）を訪問、連携の基本合意書に調印した。今回の訪問は、3月にアンソニー・タマヨ理事長とリチャード・モラン顧問が交流を求めて来校したのを機に、同大学の意向に応じて、現地の教育、生活環境を視察、確認したもの。

フィリピンは、アジアでも数少ない英語を公用語とする国、アメリカの教育制度にならい、初等、中等、高等教育が施されている。大学など2,247の高等教育機関では、約277万人の学生が学んでいる。国民全体9,400万人の約90％がキリスト教。昨今、欧米は経済不況の時代にあるが、フィリピンは英語のできる安い労働力が豊富であることから、世界各国のコールセンターや企業の進出が目覚しく、逆に発展傾向にある。欧米の不況は、教育機関にも影響が出てきており、政府からの補助助成が減少しているため、学費が高騰傾向にある。こうした状況に対応するため、JHSでは、これまでの欧米への進学ルートに加え、アジアの大学への進学ルートを開拓したもの。

UPH大学は、1975年、国家建設に貢献する人材育成のために創立された総合大学で、現在5つのキャンパス、21学部で、約50,000人の学生が在学。国際ホスピタリティ経営学部には、約1,700名、その内ホテルレストラン経営専攻の約1,000名が学士課程で学んでいる。その他、約3,000人が初等教育、約2,500人が中等教育を受けている。フィリピンの南部では、最大級の総合大学。

UPH大学との連携では、双方のカリキュラム内容を確認、単位互換により同大学の3年次編入、2年間で学士号を取得するというもの。同大学の卒業単位は192、JHSの国際ホテル学科ホテル科昼間部の98単位（一部高校時代の単位も認定）を認定、同大学で94単位を取得することになる。

これまでJHSでは、アメリカのポールスミス大学、シラー国際大学、スイスのグリオンホテルスクール、オーストラリアのザ・ホテルスクール、オランダのサキション大学などと単位互換、3年次編入の提携を行ってきたが、アジアでは初めての試み。確認の結果、フィリピンのUPH大学との連携では、学費、生活費等の総額が、年間約100万円、2年間で200万円と、比較的安い上に、良質の教育内容と環境があるため、学生の海外進学の選択肢も増え、英語そしてホテルの学習は、多いに期待できる。

9月末進路内定率67%、
−4年前の求人・内定に復帰の兆し−

校長　石塚 勉

昨今の欧州債務危機、円高、東日本大震災、原発事故などの勃発により、他産業と同様、ホテル産業も大きな影響を受けてきた。

その結果、卒業生の就職についても、求人が減少、あるいは企業の採用決断の時期が遅くなり、特に、2009、2010、2011年の3年間は、内定状況が年度後半に追いやられる状態であった。しかしながら、各年度において、教職員の努力、企業との連係プレイにより、各年度末で内定率100％を何とか達成してきた。

今年2012年度の傾向を見ていると、求人及び内定の動きは、4年前の2008年度の傾向と類似しており、9月末現在で、67％の進路内定率で推移している。業界の完全回復までは行かないが、内定率から見る限り、回復傾向にあると言える。企業の業績回復、これまでの採用控えが緩和されてきたことが要因と思われる。このままの傾向で行くと、12月末までには、90％台の進路内定率が期待できる。

少なくても過去10数年間、毎年世界的な規模で何がしかの事故、事件、災害等が起こり、他産業と同様に、ホテル、ブライダル、レストラン等のホスピタリティ産業も危機への対応に迫られてきたが、我々は、どんな時代にあっても、あきらめることなく、粘り強く、前向きに対応していかなければならない。専門学校の価値は、希望者の総てをその進路に就業させていくことにある。まだ楽観は許されないが、進路内定に向けて、早目に方向を決め、早めに準備し、早めに行動し、学生、保護者そして教職員が皆、笑顔で卒業式を迎えたい。

歓迎式 典にて：UPH大学の 幹部及び学生と共に記念写真

海外ホテル研修生制度合同修了式を開催
～アメリカホテル・シャングリ・ラ ホテル・スイスホテル研修生～

グアムの複数のホテルを所有しているケン・プレミア・ホテル・マネジメント株式会社　社長代行　吉田　安純様、ケン不動産リース株式会社　人事総務部 部長代理　緑川 泰三様にご臨席いただき、2011年度海外ホテル研修生制度合同修了式を7月20日、ヒルトン東京にて開催しました。

修了式には、アメリカホテル研修生制度、シャングリ・ラ ホテル研修生、スイスホテル研修生に参加した26名のうち、22名が出席、１年間で大きく成長した卒業生が集い、久々に会う仲間との再会を楽しむ姿も見られました。

石塚校長より修了証書を授与される

石塚校長より、海外ホテル研修生制度発足当時のお話しとともに、「１年間の研修の成果として、異文化に慣れる力、適応する力、そして変化に対応できる力を身につけたことだと思います。研修を通じて貴重な経験を積んだことでしょう。これまでの経験を今後のキャリアに活かしてください。

海外ホテル研修生　合同修了式に参加した卒業生22名と教職員

１年間の研修お疲れ様でした」と、労いの言葉を頂戴しました。

なお、2012年度の海外ホテル研修生制度には、アメリカホテル研修制度23名、スイスホテル研修生制度4名、シャングリ・ラ ホテル研修生制度4名が内定しています。

就職ドラフト 2012 実施
～ブライダル業界 × 専門学校生～

7月23日、八芳園にて「就職ドラフト2012」が開催され、本校から30名の学生が参加しました。

「就職ドラフト」は学生が9名程度のグループに分かれグループディスカッション、テーブルセッティングを行い、その様子と個人の自己PRによって、参加企業は興味を持った学生を指名するドラフトのような形式。指名されるか学生たちもドキドキしていましたが、ほとんどの学生が指名をいただき、希望する企業に最終の自己PRをしました。学生にとっては積極性を問われる企業とのマッチングイベントでしたが、刺激を受けた一日になったようです。翌日に内々定をいただいた学生もおり、今後の選考の結果も楽しみです。

このイベントは、アシスタントブライダルコーディネーター検定の作問をしている６校の専門学校と㈱ウエディングジョブ、㈱タクティブレインが協力し、企画運営したものです。参加学生数130名、参加企業数25社、ドラフト指名延べ学生数285名となりました。

人事担当者を前に自己PRを行う学生

海外ブライダルインターンシップに２名が内定
～選考試験に合格し、派遣が決定～

吉岡先生　望月茜さん　伊藤橘子さん

海外ブライダルインターンに、望月茜さん、伊藤橘子さん（ブライダル科2年）の2名が選考試験に合格し、派遣が決定しました。

2名は、2013年7月より1年間、株式会社グッドラック・コーポレーションのグアム及びハワイの事業所に派遣予定です。半年間は先輩社員について、挙式・パーティーの現地打合せ、プロデュースを学びます。その後半年間は、現地ウエディングコーディネーターとして、一人でプロデュースを行うことが目標です。帰国後、同社の評価次第で社員入社への道もあります。

今後、渡航までの期間、英語を含む事前研修などで研修の準備を行う予定です。

カナダ留学生、留学生活を Enjoy！
～ダグラスカレッジ留学生 50 名を訪問～

本年度から新たな留学先となったカナダ　ダグラスカレッジに武内悟副校長と江口幸先生が訪問し、学生と面談、留学生活の確認を行いました。現在ダグラスカレッジには、JHS生50名が留学しており、語学習得に励んでいました。

留学直後に実施されたクラス分けテストで、各自レベルに合ったクラスで学習し、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングを中心にリサーチ力やプレゼンテーション力など英語力を着実に身に着けているようです。

授業風景
レベル別クラスで学習

学生ホールで友人と歓談

放課後のダンスクラブに参加

後期の授業科目は、学生自身が授業科目選べる選択制にしています。英語だけを学ぶESLコース、Food & BeverageやEvent Managementの科目を学べるホスピタリティコースを学生が選択し、学んでいくユニークなプログラムになっています。

また、放課後は、学生それぞれ興味のあるクラブ活動やアクティビティに積極的に参加し、ダンスクラブや週末のレーボボールクラブなど有意義に学生生活を過ごしています。「残り５ヵ月の留学期間を有意義に過ごし、卒業後に役立つ英語力を身に着け、将来のために頑張っていきたい」と抱負を語っていました。

モルディブ共和国　Ahmed Khaleel 駐日大使来校
～英語専攻科２年生で特別授業～

Khaleel大使の講義風景

7月6日、モルディブ共和国　駐日大使Ahmed　haleel氏が来校し、英語専攻科2年対象にモルディブ共和国についての特別授業を実施しました。

講義は、モルディブ共和国の基礎知識や国が抱える問題、特に環境問題について興味深い話をしていただき、また、学生の最大の興味である観光業に対しての取り組みについても詳しく話していただきました。

モルディブ共和国の観光スローガンである『The sunny side of life; colorful side of life, the spiritual side of life, the thrilling side of life, and the romantic side of life』は、モルディブ共和国の観光を促進し、世界初の水中レストランや水中スパ、プライベートを確保できる環境は、世界各地から多くの観光客を引き付けています。この観光分野は、学生が最も関心のある分野であり、熱心に講義を聴く姿勢が印象的でした。なかには、将来は、モルディブ共和国の観光業に携わりたいと考える学生もいました。

大使を囲んで　英語専攻科２年生

外国人留学生バスツアーを実施
～日本文化の理解・交流を目的に～

江戸東京博物館にて

6月16日、2012年度入学の外国人留学生対象に、毎年恒例のバスツアーを実施しました。

中国・韓国・台湾・インドネシア・スウェーデンからの留学生11名と教職員11名が参加、当日はあいにくの雨模様でしたが江戸東京博物館、浅草散策、浅草～お台場間クルーズ、話題の新スポット、ダイバーシティ東京を見学。昼食は、参加者全員で東京の郷土料理百選の一つ「深川飯」に舌鼓を打ちました。

留学生バスツアーは、他クラスとの学生交流・教職員との交流を目的とした学校行事の一つであり、教育部学務室で主催しているものです。

浅草～お台場間クルーズ

第 41 回スコールアジア大会、マレーシアのペナンで開催
～アジア地域 25 カ国 160 名が参加、観光業界人が交流促進～

5 月 10 日～ 13 日、マレーシアのペナン市シティホテルを会場に、第 41 回スコールアジア大会が開催され、アジア地域 25 ヵ国 160 名の観光業界関係者が参加、交流を促進しました。スコールクラブは、スペインに本部を置き、現在 80 カ国 20,000 人の会員で、「友情」、「健康」、「幸福」、「長寿」の四つを標語とし、クラブ毎に月例会、国単位の大会、地域単位の大会、世界大会等々を開催する民間国際組織で、世界的なネットワークを構築、私的、公的な情報交換を通じて絆を深めています。いわば観光業界のロータリークラブで、本校からは、石塚勉校長が出席しました。観光促進に深い関わりがあるため、世界各国の政府や自治体がこれらの活動を支援しています。

スコール・アジア会長 ジェリー・ベレ氏、
スコール・インターナショナル会長
エンリケ・ケサダ氏、石塚校長

サークル活動紹介
～ 野球部・カクテル同好会・フットサル同好会 ～

野球部

東京都専門学校野球連盟主催の夏季選手権大会に出場、初戦は8月20日、東京衛生専門学校と対戦し、9対8で勝利。2回戦目は8月22日、中央工学校と対戦しましたが、残念ながら4対5で敗れてしまいました。

10月に開催される秋季大会もチーム一丸となり、1つでも多く勝利ができるよう合宿、練習を重ね頑張っていきますので、皆さんのご声援をお願いします。

ピッチャーの桒原一平さん

カクテル同好会

南ヶ丘牧場にて

恒例の夏合宿を8月7日、8日の1泊2日、栃木県の那須高原にて行ないました。

今年の参加者は卒業生を含む55名。初日は、昼食のあと黒磯体育館にてバレーボールの後は温泉にて汗を流しました。

卒業生、2年生、1年生、学年の枠を超え、在校生にとっては実習や就職の不安も解消される良い交流がもて、チームワークを学ぶ合宿となりました。

フットサル同好会

定例練習とBBQを7月29日、「多摩川球's 倶楽部 フットサル・ソサイチ＆BBQ」で行いました。

当日の練習は、最高気温33℃の中、在校生19名とOB5名の計24名が参加、練習を行いました。

会場は多摩川の土手沿いにあるコートでしたが、川沿いの涼しさとは程遠く、照り返すコート内の暑さと学生達の熱気で、暑い一日となりました。

猛暑に勝つ！

トピックス

入寮研修生　社長賞を受賞
～ ホテルオークラ東京 ～

入寮研修生としてホテルオークラ東京で働きながら本校に通学する、夜間部２年生井川ナツミさんが、同ホテルで社長賞を受賞しました。

井川さんは、日々ホスピタリティマインドのこもったサービス応対を心掛けていた結果、お客様より高評価を頂き、その功績が認められ、ホテルオークラ東京清原當博社長より社長賞が贈られました。

清原社長より表彰される
井川さん

総支配人より表彰
～ 品川プリンスホテル実習生 ～

品川プリンスホテルのブッフェレストラン「リューク　ダイニング　パプナ」で、ホテル実習を行っていた、宮崎愛香さんが、品川プリンスホテルの CS 向上に貢献した理由から、社内報５月号の好事例掲載と共に、望月潔総支配人より感謝状が贈られました。

望月さんはお客様より、感謝のメールを頂き、その功績が認められたものです。

望月潔 総支配人より感謝状を授与

海外で学士号取得 海外留学編入制度の紹介

～ 単位互換により海外の大学3年次に編入　2年間の学業を経て学士号取得 ～

本校には、卒業後に海外の大学に編入できる制度があります。日本で専門士の称号を取得し、その後、単位互換により海外の大学３年次に編入。２年間の学業を経て学士号が取得できます。海外への進学は、日本人としてのアイデンティティや自分自身を再発見し、ホスピタリティの本質を学ぶ良い機会になります。

シラー国際大学（Schiller International University）

＝ アメリカ・フロリダ ＝

— 世界8つのキャンパスから
選択できる学習の場 —

2004年JHS卒業　李康銀さん

世界に８つのキャンパスを持ち、国際人の教育を実践している大学です。1995年に姉妹校の提携を行い、本校の卒業生も既に13人が編入しています。アメリカのフロリダ校をはじめ、イギリス、フランス、スイス、ドイツ、スペインにキャンパスがあります。

１年単位で学習する場所を変更できるシステムもユニークな特長の１つです。

ポールスミス大学（Paul Smith's College）

＝ アメリカ・ニューヨーク ＝

— 全米一の広さを誇る
自然豊かな学習環境 —

2年制の短期大学として50年以上の歴史を持ち、1997年度からは４年制の課程を設置して、さまざまな教育を実践しています。1972年から本校とは姉妹校関係にあり、今までに18人が留学しています。

約52,609,200㎡の広大なキャンパス内には湖や山も点在し、全米一の大きさを誇ります。

自然豊かなキャンパス

自然環境に恵まれたニューヨーク州のリゾート地にあり、近くの街の人口が7,000人ほどという、まさに勉強するにはうってつけの環境といえます。

ザ・ホテルスクール（The Hotel School）

＝ オーストラリア・シドニー ＝

— インターコンチネンタルホテルが
学習と実践の場に —

インターコンチネンタル・シドニーがホテルスタッフ育成のため、1989年に開いた「Australian Institute of Hotel Management」が始まりです。1996年にサザンクロス大学との提携により、学校名をザ・ホテルスクールと改称しました。

学問と実践との融合

ホテルスタッフ教育を目的に設立された学校なので、実践力をベースにしたカリキュラムに特長があります。

学問と実践を融合させることができる環境が整っています。

グリオン・ホテル・スクール（Glion Institute ）

＝スイス・モントルー ＝

— 美しい自然の中で世界に誇るスイス
のホテル経営を学ぶ —

2002年JHS卒業　五十嵐英樹さん

40年以上の歴史を持つグリオン大学は、モントルーの町を見下ろす場所にあり、レマン湖とアルプスの山々に囲まれた自然豊かな環境です。毎年、70ヵ国以上からの留学生を含む1,200人の新入生を受け入れています。キャンパス（Glion/Bulle）はスイス国内に２つあり、インターンシップを含めた充実したカリキュラムを実施しています。

サキション大学（Saxion）

＝ オランダ ＝

—オランダの歴史ある大学で学ぶ—

1875年に2つの学術機関の合併により設立した歴史のある大学です。1998年に現在のSaxion大学の形になりました。首都アムステルダムから東部約200Kmに位置し、3つのキャンパスがあり、8つの学部と2コースの大学院、さらには2ヵ月間から1年間のESLクラスも持ち合わせています。

（イメージ）

学生総数は約22,000人、うち55ヵ国2,500人の外国人留学生が修学しています。実用実技と応用研究を重視し、学生個人の自己学習を奨励するユニークな学校です。

パーペチュアル大学（University of Perpetual Help）

＝ フィリピン ＝

—フィリピン最大の
総合私立大学で学ぶ—

英語のパーペチュアル（Perpetual）は永遠及び永久を意味します。未来永劫に教育者たれを掲げるUPH大学は、1975年にマニラ郊外のラスピニャス市で創立され、前身の学校を含めると約40年以上の歴史を誇る，フィリピンの小、中、高一貫の総合私立大学です。

ラスピニャス市のメインキャンパス以外に、８つのキャンパスが有り、約４千人の教職員及び約５万人の学生が学ぶ南メトロマニラの最大規模の大学として有名です。　（第一面参照）

メインキャンパス

サキション大学留学中の卒業生２名が来校

2011年9月よりサキション大学（Hotel Managementコース）へ編入学した、卒業生2名、高木里恵さんと下里黎さんが休みを利用して帰国、本校を訪れました。サキション大学とは、2009年に提携し、高木さんと下里さんが1期目の留学生となります。

2名はマネジメント全般やEntrepreneurship（バーチャル起業企画）などの授業を終え、7月に無事3年次を修了。9月からの1年間は卒業論文作成のための準備とリサーチに取り組むとのことです。

アジアやヨーロッパからの留学生に囲まれながら勉学に励んでいるようです。

高木さん、下島さん、江口先生

「留学当初英語での授業についていくのが必至でしたが、1年が経過し、ようやく授業や環境にも慣れました。残り1年は卒業論文に取りかかり、無事に卒業しました、と報告したいです。」と語っていました。

クラスは35名と少人数なので、お互い意思疎通には問題ないようです。

■編入学に関するお問合せ：専門学校日本ホテルスクール
教育部　武内・江口
TEL：03-3360-8581　FAX:03-3360-8584

～ＪＨＳ同窓会便り～

第 38 回 JHS 同窓大学・札幌を開催
～ 卒業生、同窓会関係者など 20 名が集結 ～

勉強会風景

第38回JHS同窓大学・札幌を6月30日、札幌プリンスホテルで開催し、北海道在住の卒業生、同窓会関係者、20名が参加しました。

当日は同窓大学・札幌の学長、伊藤寛保氏（1974年卒、同窓会北海道副支部長）の挨拶に続き、参加者全員による校歌斉唱、自己紹介を行いました。その後、近藤隆一氏（1980年卒）による、北海道の観光事情、観光客の動向などの内容の講演、石塚校長から学校近況報告、最後に懇親を深める夕食会を実施しました。

宮越惣一同窓会北海道支部長（1974年卒）は「多くの皆様にご参加頂き、卒業生同士の絆が一層深まり大変有意義な同窓大学でした。今後も学校との連携を深めてゆきたいと思います」と語っていました。

JHS同窓大学は、1996年度設立、翌年度から活動を開始しました。年2回の開催を基本にして卒業生の相互交流、相互啓発を目的に学長、教授はともに卒業生が務め、勉強会、懇親会、卒業生等との交流を行っています。今までに全国21会場、延600名の卒業生が参加し卒業生同士の親交を深めています。

同窓大学参加者の皆様

2012 年度 同窓会幹部会議を開催
～ 今後の同窓会活動の方向性を確認 ～

2012年度専門学校日本ホテルスクール同窓会幹部会議を6月15日に本校にて開催しました。

この会議には同窓会の役員、事務局の計9名が出席し、同窓会の前年度事業報告及び決算報告、2012年度事業計画案、収支予算案の各議案について審議し、それぞれ承認されました。また、石塚校長（同窓会特別顧問）から、学校運営状況報告及び今後の同窓会運営に関し助言がありました。

2012年度の同窓会の主な対外活動予定は、卒業生の自己学習の機会提供、卒業生と学校との交流を目的にした「JHS同窓大学」及び「JHSソムリエクラブ」の各年2回の開催、そして新たに「JHSオーナーズ・アソシエーション」を発足する予定です。これは創立15周年を記念し発足した「ジュニア・オーナーズ・アソシエーション」を発展させ、卒業生で社長、オーナーまた起業し業界等で活躍している卒業生を中心にした組織とする予定で、全国で活躍する卒業生のネットワークの拡大、相互連携を深めることを目的に発足します。初年度にあたる今年度は、学校と協力・連携し活動方針及び活動計画の決定、会則の制定、メンバー選定等を予定しています。

同窓会幹部の皆様

■同窓会に関するお問い合わせ
同窓会事務局：TEL:03-3360-8231　FAX:03-3360-8584

第 14 回JHSソムリエクラブ開催
～ パレスホテル「グランドキッチン」～

第14回JHSソムリエクラブの会合を7月24日にパレスホテル1階オールディダイニング「グランドキッチン」で行い、23名が参加しました。

1961年10月に開業したパレスホテルは50年の歴史がありますが、数年間の建替え期間を要して、2012年5月17日に新生パレスホテル東京として生まれ変わりました。

日本のソムリエ第1号の、日本ソムリエ協会名誉会長　浅田勝美氏は長年パレスホテルで活躍されていました。

当日は、新しいスタイルの料理と伝統を受け継いだ古典料理のコラボレーション、そして一品一品に合わせたワインとのマリアージュを堪能しました。

会合終了後は、館内の施設見学を行ない、贅沢な施設、空間に参加者も満足感の高い一日となりました。

参加者の皆様会　グランドキッチンにて

JHSソムリエクラブは、ソムリエ及び料飲に携わる卒業生の勉強の場として、年2回の会合をこれからも継続して行ってまいります。興味のある卒業生はご連絡をお待ちしております。

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
担当：川上　TEL:03-3360-8581　kawakami@jhs.ac.jp

台湾より卒業生引率の一行 24 名が来校
～ 杜 健(トイージェ)さん(2005 年卒業) ～

杜さんは2005年に本校卒業後、母国台湾に戻り、2010年に大学院を卒業、現在は大学、高校、塾などで日本語を教えています。

左：杜さん

今回の一行は、杜さんの教え子、家族、友人たちで、皆さんへ是非母校を見学させたいという思いから実現しました。

一行は和やかな中で、学校の説明、学校見学、彩り鮮やかな和食のお弁当を食べながら歓談しました。

7階テラスにて
中央：石塚校長、右：杜さん

杜さんは、台湾と日本の懸け橋になり、日本語教育指導に益々力を注いでいきたい、と語っていました。

卒業生が全国第 3 位に
～ 第 8 回 The Master of Bridal Coordinator ～

公益社団法人日本ブライダル文化振興協会主催の「第8回The Master of Bridal Coordinator」で卒業生の須納瀬美和さん（1995年卒業）が見事3位に入賞、「The Master of Bridal Coordinator」の称号が授与されました。

今年度はブライダルコーディネーターやブライダル教職などブライダルに関する業務経験者98名がエントリーをし、予選では300問のブライダル一般教養テストと論文テスト「これからのブライダルに対する考えや思い」を受験しました。

上位 10 名が選出され、業界有識者など 20 名が審査員となった接客ロールプレイング試験に挑みました。須納さんは俳優 2 名をお客様役とした 10 分の新規接客を行い、「私の婚礼は絶対この人にお任せしたい」と思われるような接客であったことを評価され、見事 3 位に入賞しました。

最終試験に挑んだ上位10名
右から四人目：須納瀬美和さん

財団ニュース

日本旅館国際女将会
～世界のホスピタリティ体験シリーズ　第２回　インド・スタディ・ツアーを開催～

日本旅館国際女将会は、諸外国に学ぶこと、そして日本旅館の伝統文化を諸外国に紹介することを目的に、1995 年創立以来 15 年間、「旅館ホテル文化の国際交流シリーズ：女将・イン・○○」として、世界の主要都市を訪問してきましたが、2010 年度から海外の高級リゾート等での受入体制、サービス等を具体的に体験し、日本で多くの外国人を受け入れる場合の外客接遇に、多くのヒントやアイディアを異文化圏から学んでいく活動へ切り替え、新たに「世界のホスピィタリティ体験シリーズ」としてスタートしました。

タージマハルホテルにて
最後列左：佐藤誠さん、右端：石塚理事長

第２回目となる今年は、9 月 7 日～ 12 日、4 泊 6 日の日程で、日本旅館国際女将会のメンバー等 10 名が国交樹立 60 周年にあたるインドを訪問しました。インドは近年目覚しい経済成長を遂げ、所得水準が大きく上昇、観光庁は 2010 年度より、マレーシア、ロシアとともにインドを「重点市場」に格上げし、より積極的な訪日プロモーションを展開、今後の国外旅行者数の拡大が大いに期待されています。

一行はニューデリー、オールドデリー、アグラ、ジャイプルを訪問、多種、多様な人々の生活を体感できた事は非常に貴重な経験となりました。また、宿泊先のタージマハルホテル、ランバーグパレス（宮殿ホテル）では、質の高いサービスに触れ、今後の外客接遇に大いに参考になったようです。なお、同ホテルには、専門学校日本ホテルスクール卒業生　佐藤誠さん（2004 年卒業）がセールスマネージャーとして 2010 年から赴任しています。

民族衣装を体験
タージマハル（アグラ）にて

MICE（マイス）塾「夏のオープンスクール」講座を開催
～『MICE って、なに？』～

浅井 新介塾長による講義

毎年、夏に実施している、ホテル＆マイス塾の卒塾生を中心としたオープンスクールを、今回は講師に浅井塾長を迎えて『MICEって、なに？』というテーマで8月24日に初級、8月31日に中級講座を開催しました。

初級講座では、MICE（マイス）の本質を時代によるビジネススタイルの変化を絡めながら初心者の皆様へ分かりやすく説明しました。

中級講座では。冒頭から小グループに分かれてのワークショップ、交流に始まり、夜のアフターマイスにもたくさんの方が参加してくださいました。内容もさることながら、今後に活かせる新たなマイス人脈を得たようです。

MICE 塾　2013年度　第3期生募集中

■期間：2013年5月～2014年3月（ 第１＆第３金曜日の月２回が基本）
■講義見学及び聴講のご希望を随時受け付けております。
■詳細はHPでご確認下さい。http://www.jec-jp.org/
■お問合せ：事業部　教育事業室　藤原弘一　TEL:03-3367-5663　juku@jec-jp.org

JICA視察団来校：16ヵ国17名訪問
～「ホテル業界事情と本校の教育について」～

国際協力機構（JICA）は、財団法人日本ホテル教育センターへホテル業界と観光についての講義を依頼、9 月 26 日、観光マーケティングを担当する 16 ヵ国 17 名の方々が専門学校日本ホテルスクールを訪問しました。視察団、17 名の方々は、この研修を通して観光振興にかかわる自国の課題を整理し、対日観光振興マーケティングが所属組織に於いて共有されることを最終目的としています。『ホテルスクールの教育概要』、『日本のホテル業界事情と教育について』の講義の後は、英語専攻科 2 年生が校舎を案内、学生は、英語で校舎を案内し、学校についての質問に対し悪戦苦闘しながらもしっかり案内していました。

JICA 視察団の皆様

【第２回学生観光論文コンテスト】
～賞金総額 100 万円～
観光で日本を元気にする論文を募集

昨年度に引き続き、観光立国の実現をサポートするべく、「なすべきことは何か」を主眼とする学生の提案を募集しています。

■目　的：将来の観光業界のリーダーとなる若者の育成を通じて、日本政府ならびに観光庁の観光政策をサポートする
■論文テーマ：下記三つのテーマの中から一つを選択
　A）観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案
　B）観光資源保護におけるナショナル・トラスト活動の役割について、私の提案
　C）新しい東北観光の在り方とその波及効果について、私の提案
■賞　金：最優秀賞 1 編には賞金 50 万円、優秀賞 2 編には 賞金各 25 万円を贈呈
■募集期間：2012 年 10 月 1 日～ 11 月 30 日必着
■応募資格：日本国内の大学・短大・専門学校に在籍する学生（大学院生は対象外）

観光庁長官と第１回　最優秀賞　明治大学 政治経済学部
新田功ゼミナールの皆さん

■お問合せ：事業部　教育事業室　藤原弘一
TEL：03-3367-5663

◇◇◇◇ JHSたより 46号 ◇◇◇◇
編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231　kurosawa@jhs.ac.jp